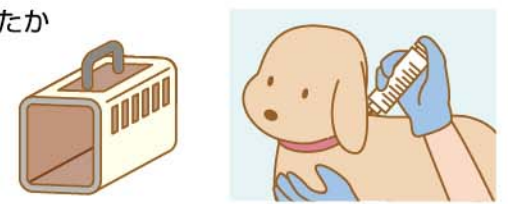


ペット 防災対策

平時から同行避難に必要な備品等を用意しておきましょう。
また、ペットの安全と健康を守るとともに、避難所でのトラブルを避けるため、普段からしつけや健康管理をしておくことが大切です。

ペットの同行避難 事前準備チェックリスト

- ケージやキャリーバックなどペットを避難させる用品を用意しましたか
- ペットに必要な予防接種を受けさせるなど健康管理をしましたか
- ペットに迷子札を付けましたか
- 無駄吠えをさせない等のしつけをしましたか
- 家族でペットを連れた避難訓練を実施しましたか



ペット備品チェックリスト

- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 療法食・薬 | <input type="checkbox"/> リード(伸縮しないもの) | <input type="checkbox"/> おもちゃ | <input type="checkbox"/> 飼い主やペットの情報(連絡先・ワクチン接種状況・既往症・かかりつけ動物病院など) |
| <input type="checkbox"/> 5日以上以上のフード・水 | <input type="checkbox"/> 首輪(ハーネスを推奨) | <input type="checkbox"/> タオル | |
| <input type="checkbox"/> 食器 | <input type="checkbox"/> ケージ、キャリーバック | <input type="checkbox"/> ペットの写真 | |
| | <input type="checkbox"/> トイレ用品 | | |

赤ちゃん 防災対策

災害が発生した時には、赤ちゃんを連れて安全な場所まで避難しなくてはなりません。
日頃から家族の命を守るための心構えをし、持ち出し品を準備しておくなど災害に備えましょう。

赤ちゃんと防災

赤ちゃんは普段と違う環境で不安な気持ちになってしまいます。お気に入りのおもちゃや好きなものを与えてあげましょう。また、ストレスから夜泣きやわがままな行動をとってしまうことがあるかもしれません。極力、怒らないようにしましょう。
避難生活が長引くと、赤ちゃんだけでなく、パパ・ママも疲れてきます。抱え込まずに信頼できる人や避難所のスタッフなど周りとのコミュニケーションをとりましょう。
日頃から地域の方と顔の見える関係を作っておくと、いざという時に安心です。



子ども・赤ちゃんと防災 (教えて!ドクターHP)
<https://oshiete-dr.net/column/bousai/>

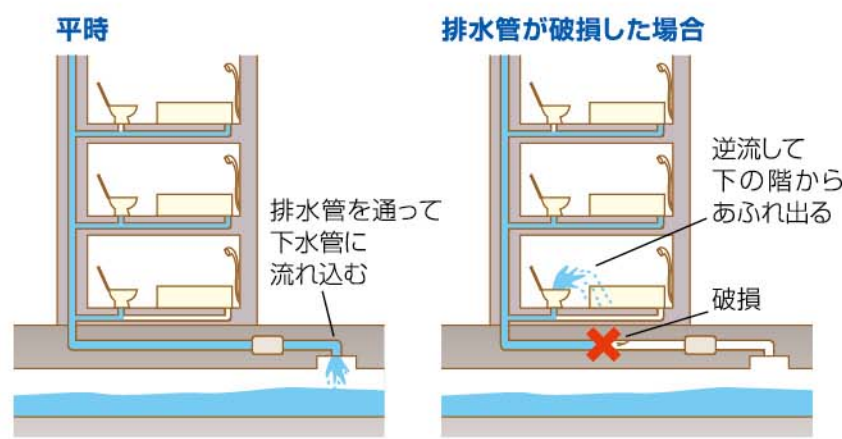
赤ちゃん用アイテム(例)

- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> おむつ | <input type="checkbox"/> 授乳用ケープ・ミルクセット | <input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶 | <input type="checkbox"/> 抱っこひも |
| <input type="checkbox"/> おしりふき | <input type="checkbox"/> 離乳食・ベビーフード | <input type="checkbox"/> 食器・スプーン・フォーク | <input type="checkbox"/> おもちゃ・絵本 |
| <input type="checkbox"/> ティッシュ・ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> おやつ | | <input type="checkbox"/> 健康保険証・母子手帳(コピー可) など |

集合住宅 防災対策

近年、集合住宅が増加傾向にある中で、集合住宅特有の問題に対して、対策を講じる必要があります。高層の集合住宅では長周期地震動の危険性もあります。
集合住宅の居住者や管理者はもちろん、今後、集合住宅の建設を検討している企業の方についても、問題を認識し、準備しておくことが大切です。

集合住宅におけるトイレの災害対応



災害によって、排水管が破損するとトイレを使った際に、1階など下層階で汚水が逆流し、あふれ出ることがあります。
上階にお住まいの方は排水管の異常に気がつくため、配管の安全確認が終わるまではトイレの水を流さないようにするなど、住民同士でルールを決めておくことが大切です。

携帯トイレの使い方

設備業者による配管の安全確認が済むまでは、便器にビニール袋をかけ、その上から携帯トイレを使うと、水を使わずにトイレを済ませることができます。
また、携帯トイレに付属している薬剤は、臭いや液体が漏れる心配をなくし、可燃ごみとして廃棄することが可能です。
携帯トイレの備蓄数は、1人あたり1日5回と想定し一週間分を用意するようにしましょう。

- 1 便器にポリ袋をかぶせた後にその上から排泄袋(便器の代わり)を設置します。
- 2 用を足し、汚物を固めます。凝固剤はシートで排泄物を吸収するタイプと錠剤や粉末状のタイプなどがあります。
- 3 排泄袋のみを取り出し、空気を抜いて口を強くしばります。
- 4 密閉できる容器でごみの収集まで保管します。ふた付きのゴミバケツに捨てて、市町村のごみ収集に当たって処理をしてください。

